



近畿運輸局 海事振興部 貨物・港運課 【事務官】令和元年10月入局

略歴

令和元年10月 独立行政法人自動車技術総合機構
なにわ事務所 登録確認調査員

令和3年4月 近畿運輸局 自動車交通部 貨物課

令和5年4月 近畿運輸局 海事振興部 貨物・港運課

近畿運輸局に入局したきっかけ・理由は何ですか？

ズバリ説明会での職員の方の雰囲気です。

記憶が定かではないのですが、おそらく3回生の時に大学で行われた国家一般職合同説明会のようなものに参加した際に、初めて近畿運輸局の存在を知りました。

なんとなく国家一般職志望で「この仕事を絶対にしたい」という熱い思いもなかったのですが、これだけは仕事をする上で大事かなという要素はありました。

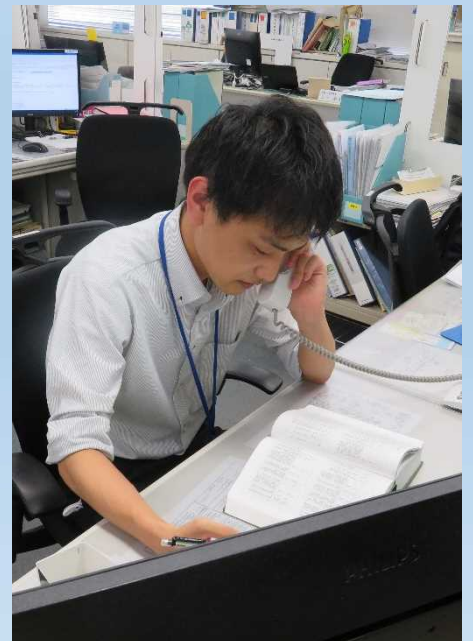
それが職場の雰囲気です。近畿運輸局の説明会は3名の方がお越しになっていたのですが、休憩時間中に職員さん3名で楽しそうにお話していたのがすごく印象に残っています。

こんな雰囲気の職場で働くことができたら楽しいかもと思い近畿運輸局を第一志望に決めました。

現在はどんな業務に携わっていますか。

主に貨物利用運送事業の登録、許認可業務に携わっています。利用運送事業とは「他者からの運送依頼に応じるため、自らが運送責任を負って、運賃及び料金を収受し、他の実運送事業者（トラック、船舶、航空、鉄道）を利用して行う貨物運送のこと」になります。端的に言えば、荷主と運送会社の仲介役です。運送会社と一言と言っても何で運ぶかによって種類が様々ですが（トラック、飛行機、電車、船等）、私は現在船に関する利用運送に携わっています。ちなみに船以外は近畿運輸局の別の部署で管理しています。

日々申請書とのにらめっこですが、船会社さんは比較的公司規模が大きいことが多くやりがいのある業務だと感じています。



これまで携わった中で印象に残っている仕事を教えてください。

初めての配属場所である自動車の登録業務です。イメージのつきやすい具体例をあげると、車検証上の所有者の名義変更や住所変更、ナンバープレートの変更等の登録になります。

主に窓口対応になるのですが、初めて来庁される方に対して、誰でもわかるようにと意識して説明するようにしていました。そのおかげかはわかりませんが窓口で揉めることはほとんどなかったと思います。

当時の上司から私の説明の仕方を聞いていたらそんな言い回しもあるんやと感心する、というようなことを言ってもらったこともあり、すごくうれしく印象に残っています。

この業務はチームプレイで一緒に働く職員とのチームワークが大事だとよく言われるのですが、そういう意味でも私の初めての配属先にはぴったりだったと感じています。

近畿運輸局の魅力って何だと思いますか？

入局した理由でもある職場の雰囲気の良いさだと思います。気軽に相談ができる上司や、仕事だけでなくプライベートでも付き合いのある同僚を持てたことは、今後何十年も仕事をするとも考えると大変価値あるものだと感じています。仕事をしていくとやはり頭を抱えてしまうこともありますが、一緒に働いている方たちの助けによって現在まで大きな問題もなく過ごせています。



最後に、国家公務員を目指す受験生へ熱いメッセージをお願いします。

人生で最も重要な判断の内の一つが仕事選びだと思います。どんな判断をしても未来の自分が後悔しないよう、できることは全てした上で一番働きたいと思えるような職場を見つけてください。

それが近畿運輸局であれば大変うれしく思いますし、その判断は間違っていなかったと胸を張っていえるよう良い雰囲気作りを今後もしていければと思います。

皆様と一緒に働くことができる日を楽しみにしております。